

令和元年10月25日(金)
第149回市町村職員を対象とするセミナー

都道府県が進める フレイル対策と市町村支援



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

- 群馬県健康福祉部保健予防課
健康増進主監 阿部 絹子

県庁内の連携・専門職同士の連携－つながり見つけて、できることから－

群馬県健康福祉部

健康福祉課

監査指導課

地域包括ケア推進室

医務課

介護高齢課

保健予防課

障害政策課

薬務課

国保援護課

食品生活衛生課

室長

○医療・介護連携推進係
在宅医療の推進/医療・介護連携推進/医療費適正化計画

認知症主監
(保健師)

●**認知症・地域支援係** (保健師)
認知症施策/介護予防/地域包括支援センター支援
生活支援体制整備/高齢者権利擁護/地域支援事業交付金

課長

医監

健康増進主監
(管理栄養士)

●**健康増進・食育推進係** (管理栄養士・保健師)
健康増進対策/生活習慣病対策
栄養・食生活改善対策/たばこ対策

●**疾病対策・歯科保健係** (歯科医師 歯科衛生士)
歯科口腔保健対策/アレルギー疾患対策

○難病対策係 ○感染症対策係
○新型インフルエンザ対策係

室長

○がん対策推進室 ○がん対策推進係

課長

●**薬事・血液係** (薬剤師) 薬局の許可・指導・薬局ビジョン

○審査・監視係 ○麻薬・危険薬物係 ○温泉係

課長

●**国保指導係** (保健師)
市町村国保の指導・支援、保健事業

●**国保運営係** 国民健康保険の財政運営

●**高齢者・保健医療係** 後期高齢者医療制度・医療給付指導

○福祉医療係 ○援護係

平成30年度 政策プレゼン「地域で進めるフレイル予防」

地域包括ケア推進室・保健予防課・国保援護課

現状：フレイル関連の疾病が要介護の原因の約4割を占める

健康寿命の延伸には「**フレイル予防**」が重要な要素

身体的

- ◆口腔機能の低下
- ◆低栄養・筋力の低下

精神的

- ◆認知機能の低下
- ◆意欲の低下

社会的

- ◆閉じこもり・孤食
- ◆社会参加の減少

- ・フレイルチェック（食生活・筋力）の実践
- ・低栄養予防の普及・オーラルフレイル予防の普及

フレイル予防推進リーダーの養成・活用

住民主体の
通いの場の活用

市町村を核とした推進体制の充実・活動支援

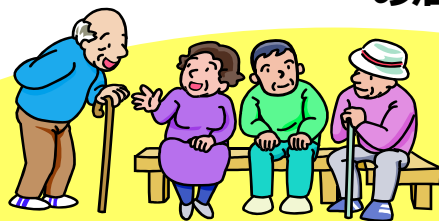
県・地域機関等による市町村の取組を強化するための支援の充実

地域ですすめるフレイル予防

公共施設・空き店舗等の活用

市町村

国保部門&保健センター&
地域包括支援センター等



個別支援・集団指導
専門職の介入
保健師・管理栄養士
歯科衛生士・薬剤師等

フレイルチェックの実践

低栄養予防の普及

オーラルフレイル予防の普及

実践・指導

通いの場
立上げ支援

高齢者の元気と絆づくり

住民主体の**通いの場**

参加

運営

地域の高齢者

参加の働きかけ
個別アプローチ
広報での普及啓発

参加の働きかけ
クチコミでの普及啓発

**フレイル予防
推進リーダー
の養成**

介護予防サポーター



食生活改善推進員



口腔歯科サポーター



県内市町村・広域連合との連携－実地体制の整備に向けて－

健康寿命の延伸・介護予防に関する市町村トップセミナーの開催（主催：群馬県）

テーマ：誰もが住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく健康でいきいきと

- 健康増進事業の推進、介護予防・重症化予防のための体制整備や国民健康保険等の保健事業の充実が急務であり、**市町村における保健、介護及び国保部局の連携が重要である**。そこで、**高齢者の保健事業、介護予防の目的**を十分に周知することで、実施体制を整備し、より積極的に取り組む契機とする。

高齢者保健事業推進研修会の開催（主催：後期高齢者医療広域連合）

大きなテーマは連携・協働

- 健康寿命の延伸を軸に、共通理解を確認し互いのつながりを意識する

県庁職員がシンポジウムに参画

地域包括ケア推進室
（保健師）

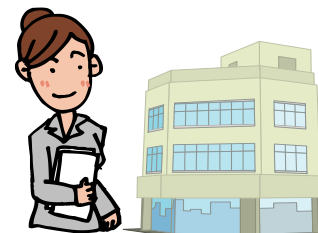
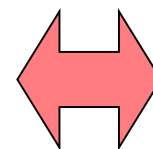
薬務課
（薬剤師）



保健予防課
（管理栄養士）

国保援護課
（保健師）

情報共有



市町村・保健センター&
地域包括支援センター等



健康寿命の延伸 県民運動 ぐんま元気の5か条普及啓発事業

社会や県民への発信力を強化し、全ての県民に県民運動としての定着を目指す

- 企業との連携体制・協働事業
健康づくり推進連携協定企業・食育応援企業・関係団体等と連携した広報活動・イベントの開催
- ぐんま元気の5か条の実践を目的としたマニュアル・プログラムの開発・活用促進

I 元気に“動こう・歩こう”プロジェクト

- 「①気づく②はじめる③達成する④つながる」をコンセプトとして3つのプロジェクトを展開

- I 支援P J : 実践マニュアルの作成・活用
実践リーダーの育成・活動支援
- II 拡大P J : 実践フォーラムの開催
キャンペーン（広報活動）
- III 定着化P J : ぐんま元気アプリの活用

II 科学的根拠に基づいた健康づくり対策

- 保健・医療・介護のビッグデータ分析
(国民健康保険+協会けんぽ)
地域の健康課題の「見える化」地区別分析
- 市町村・関係機関・団体と分析結果の共有
課題解決に向けた検討・モデル事業の実施
- 健康課題の多い地域への介入・評価

元気に“動こう・歩こう”チャレンジ事業

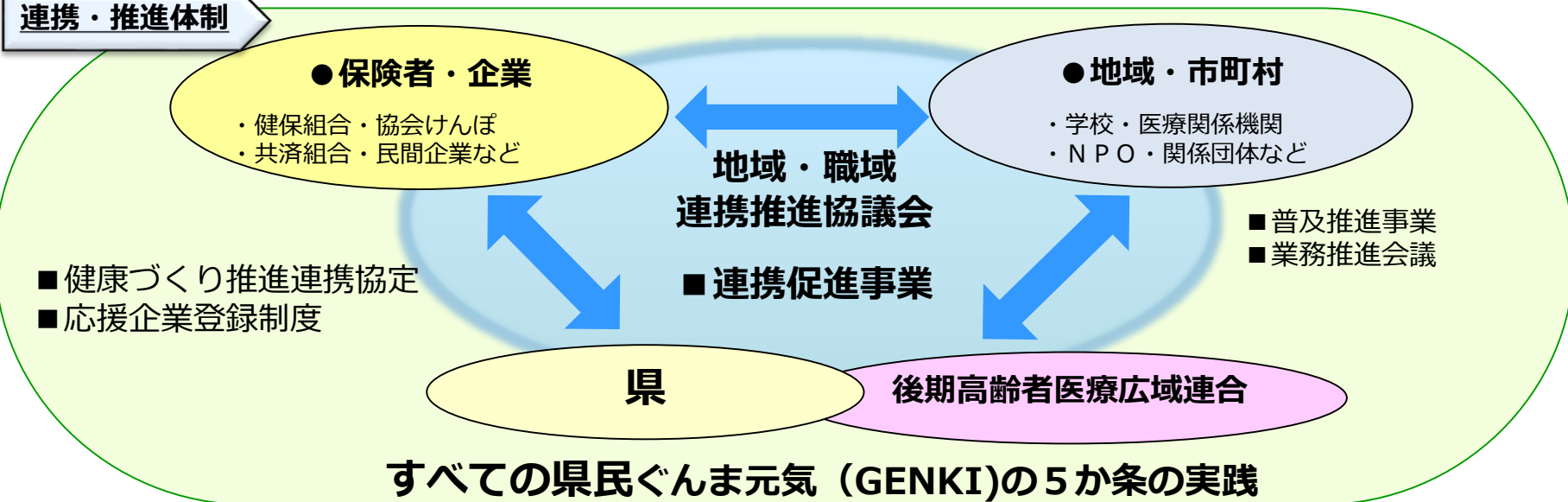
- 県民一人ひとりの「グタイテキニ」宣言
グ具体的に タ達成可能な イ意欲的に取り組める
テ定量化した キ期日を決めて ニ日課にできる
「グタイテキニ」実践講習会の開催（実践リーダーの活用）
「グタイテキニ」チェックノートの作成・活用
- ぐんま元気アプリ「ビンゴチャレンジ！」
3人1組で部門別（シニア・学生・ファミリー・企業）に参加
実践フォーラムで表彰（参加賞・優勝記念品の贈呈）

糖尿病の発症予防・重症化予防対策

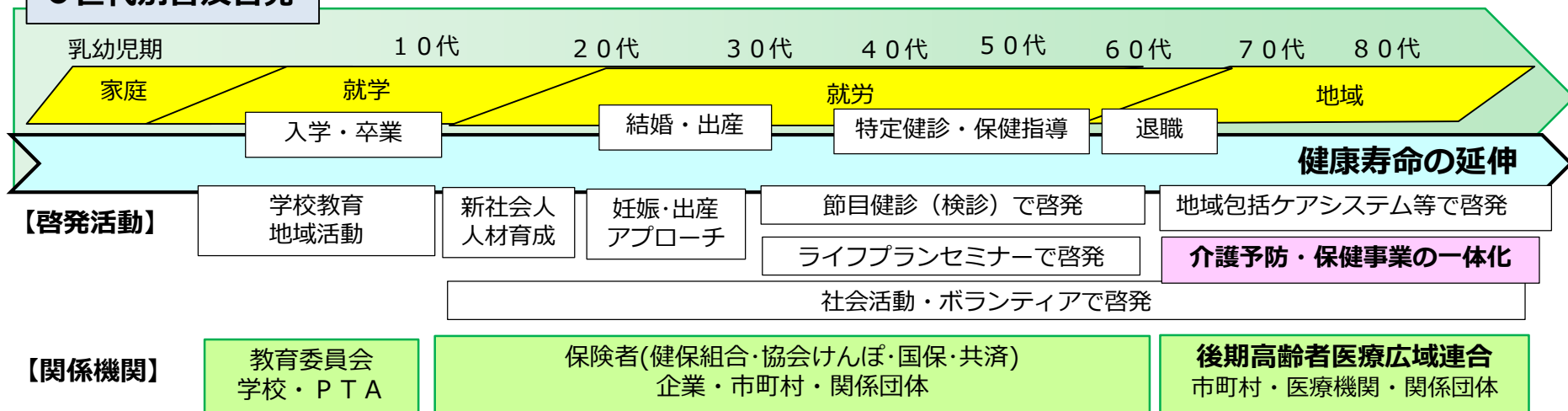
- 糖尿病予防指導プログラムの推進
糖尿病予備軍や初期段階の者を対象に、実効性の高い
予防指導を行い、健康増進を図る
- 糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの推進
重症化のリスクの高い者を対象に、かかりつけ医と連携
して保健指導を行い、人工透析への移行を防止
- 関係機関との体制整備・人材育成・資質向上

●健康寿命の延伸と高齢者の保健事業と介護予防の一体化

連携・推進体制



●世代別普及啓発



県民への発信力の強化・全県的な広報活動

◆メディア広報・イベント開催・ロゴマークの活用など

活力ある健康長寿社会－県民幸福度を高める－

- 人生100年時代の安心の基盤は「健康」である。
QOL(生活の質)を向上し、健康でいきいきと生活することは県民全ての願いである。
- 生活習慣病の早期予防、医療需要や伸びゆく介護需要の抑制が社会保障制度を持続可能なものとする。



- 「経済財政運営の改革の基本方針2019」
健康寿命延伸プランでは、2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸(男性:75.14年以上 女性:77.79年以上)を目指している。
(本県平成28年 男性:72.07年 女性:75.20年)

■「健康寿命社会形成に関する有識者会議」(仮称)

- 幅広い知見を有する方々との意見交換
- 「群馬モデル」としての新たな政策ビジョンの提案

■「ぐんま健康ポイント制度」(仮称)の調査研究

- 先進地視察、ヒアリング等による情報収集・検討
- 市町村・保険者等で検討会議を実施

- 若者などの健康無関心層も含めた「全ての県民」が健康づくりを実践できるよう、庁内関係部局や民間の様々な主体と連携し、「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」など「新たな手法」も活用し、取組を推進する。

糖尿病対策の推進 発症予防・重症化予防

- ・ 指導プログラムの普及
- ・ 人材育成・モデル事業の実施

健康寿命の延伸のための実践事項
「ぐんま元気(GENKI)の5か条」
全ての県民の実践を目指す
元気に“動こう・歩こう”プロジェクト

企業との連携

- ・ 健康づくり推進連携協定
- ・ 企業登録制度(がん対策・食育推進)
- ・ 地域・職域連携促進事業

情報提供
活用支援

情報提供
活用支援

県民

市町村

無関心層

企業・事業所

科学的根拠に基づいた健康づくり対策 健康課題・評価(成果)の「見える化」